

能登でトキと人が生きていける環境を 広げるためのワークショップ

震災からの復興に向けた一つのシンボルとなっているトキは、人が米づくりをする田んぼやその周辺で生活する鳥です。能登でのトキの放鳥が来年に迫る中、今後、珠洲市でもトキが放鳥される可能性があります。また、他の場所で放鳥されたトキが飛来することも考えられます。今回のワークショップでは、トキという鳥の習性や特徴、トキとの共生を10年以上積み重ねてきた佐渡の事例を学びながら、今後、人とトキが能登でともに生きていく方法を探る機会にしたいと考えています。



日時

2025 年（令和 7 年）11 月 29 日（土）
9:30～11:40

場所

珠洲市産業センター3 階会議室



プログラム

- 9:30 開会あいさつ（日本鳥類保護連盟 会長 小宮 輝之）
- 9:35 トキの生態と野生復帰に向けた取り組み
新潟大学佐渡自然共生科学センター
名誉教授／フェロー 永田 尚志 博士
- 10:05 ビオトープを作り、維持管理を続ける取り組み
潟上水辺の会 会長 板垣 徹 氏
- 10:30 珠洲市粟津地区での活動紹介
- 10:40 （休憩）
- 10:55 総合討論
- 11:40 閉会あいさつ

**参加無料
事前申込み不要**

※ 午後は珠洲市三崎町粟津地区で現地見学（13:30～15:30）を行います。
参加希望者は、13:30 に粟津集会所に集合してください。

主催

公益財団法人 日本鳥類保護連盟
粟津村おこし推進協議会

協力：能登 SDGs ラボ、NPO 法人能登半島おらっちゃんの里山里海
後援：環境省中部地方環境事務所、石川県、珠洲市

連絡先：能登 SDGs ラボ
電話：0768-88-2021
Mail: info@noto-sdgs.jp

本ワークショップはサントリー世界愛鳥基金の助成を受けて実施しております。